

一般向けセミナー開催：

ショウジョウバエモデルでALSに挑む

ALS（筋萎縮性側索硬化症）については社会的な認知度も上がり、新しい治療法開発への関心が高まっていますが、遺伝資源であるショウジョウバエの疾患モデル利用による研究成果の進捗に関しては未だあまり知られていません。

ヒト疾患関連遺伝子の75%を持ち世代交代の早いショウジョウバエは、ヒト疾患のモデル動物として大変有用です。ショウジョウバエモデルを用いたALS研究の現状と展望並びにその有用性について、わかりやすくお話しいたします。

患者様とそのご家族、医師、看護師、支援者等、多くの皆様のご来聴をお待ちしております。 京都工芸繊維大学 工芸科学研究科
 応用生物学系 教授／昆虫先端研究推進センター長
 ハノイ医科大学名誉教授 **山口 政光**



日時 平成30年 1月14日(日) 午後2時(1時半 開場・受付開始)
 (午後3時半終了予定)

会場 京都アカデミアフォーラムin丸の内 大会議室D
 (東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビルディング10階)

対象 一般 (ALS患者・ご家族、医師、看護師、支援者等)

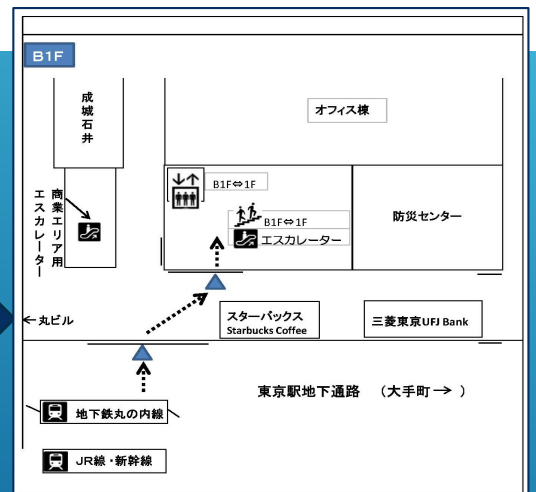
申込み方法 定員：50名(先着順) 参加費：無料

《氏名・種別(患者・家族・専門職・一般)・車椅子使用の有無・同行者がいる場合はその人数》をご明記の上、下記アドレス宛てメールにてお申し込み下さい。

締切：平成30年1月8日(月) *但し定員に達し次第締切ります。

E-mail : shoujoubae0114@gmail.com

新丸の内ビルディングオフィスエリアは日曜日休館のため、入館される方は、東京駅直結の地下1階オフィスエントランスからお入り下さい。(入口は地図をご参照ください) 1階からは入館できませんのでご注意ください。



協力：日本ALS協会